

令和2年度 4月 準正予算
総額 1,289億6,800万円

1、医療・検査体制確保

◆患者の状態に合わせた医療体制の整備 81億8,800万円

重症者等のための入院病床数 38床(常時)→264床(5月14日時点)

入院治療	重症者	①感染症指定医療機関等の医療機器購入に対する助成 人工呼吸器、体外式膜型人工肺(ECMO)、携帯X線装置等
	中等症者	②病院施設・設備の整備に対する助成 休床病床の活用や患者導線確保のための整備等
	軽症者	③入院患者受入のための空床確保等に対する助成 入院治療を要する人の確実な受け入れのための空床確保等に要する費用
	無症状者	④府立医大における体制整備 院内感染防止対策や資機材整備
	入院調整	⑤入院費用等自己負担の軽減 患者自己負担相当分の公費負担

⑥宿泊療養施設の整備・運営 最大900室を確保
滞在療養するための民間ホテル等の整備及び運営費
(整備)借上げ費用、パートナーシップによるソーニング、生活資材の調達等
(運営)食事の手配、廃棄物等処理

⑦京都府入院医療コントロールセンターの運営
感染者のトリアージや入院患者の受け入れ先調整を行う医師人件費等

◆医療提供体制を支える仕組みづくり 7億3,900万円

◆PCR検査体制等の強化 6億4,800万円

2、感染拡大防止対策

◆休業要請等に協力した事業者への支援給付金 38億円

◆社会福祉施設等の感染拡大防止対策 16億3,800万円

◆府民の安心・安全対策の強化 1,200万円

3、京都経済緊急対策

◆休業要請等に協力した事業者への支援給付金(再掲) 38億円

◆新型コロナウイルス対策企業等緊急応援補助金 30億円

休業要請の対象にならなかった事業者も活用できる
「緊急応援補助金」を創設!

小規模事業者、農林水産業者、文化芸術団体……2／3(上限20万)
中小企業1／2(上限30万)
複数の企業グループでの共同で行う取組には加算措置
グループ共通経費部分に対し補助金を上乗せ
(2~4社10万円、5社~9社50万円、10社以上100万円)

5月臨時会を経て新体制がスタートしました

議会運営委員会	○○秋田 公司	○荒巻 隆三	石田 宗久	藤山裕紀子
○委員長 ○理事	園崎 弘道	中村 正孝	青木 義照	荻原 豊久
予算特別委員会	○委員長 ○副委員長	○秋田 公司	○能勢 昌博	
政策調整会議	座長/池田 正義	能勢 昌博		
広報広聴会議	座長/中村 正孝	家元 優		
京都地方税機構議会	議長/秋田 公司	荒巻 隆三		
関西広域連合議会	渡辺 邦子	兎本 和久		

常任委員会	○委員長 ○副委員長	○委員長 ○副委員長	○委員長 ○副委員長	
総務・警察	府民環境・厚生	文化・教育	危機管理建設交通	農商工労働
○兎本 和久	○藤山裕紀子	○能勢 昌博	○園崎 弘道	○四方源太郎
○藤山裕紀子	近藤永太郎	○秋田 公司	○井上 重典	○片山 誠治
前波 健史	岸本 裕一	菅谷 寛志	二之湯真士	小巻 實司
田中 英夫	中島 武文	中村 正孝	中村 正孝	渡辺 邦子
家元 優	宮下友紀子	磯野 勝	森口 亨	森口 良崇

特別委員会	○委員長 ○副委員長	○委員長 ○副委員長	○委員長 ○副委員長
持続可能な地域社会に関する子育て環境の充実に関する	○中島 正孝	○中島 正孝	○文化・スポーツ振興対策
○宮下友紀子	○武文	○豊久	○森口 亨
荒巻 隆三	○荻原 豊久	○岸本 裕一	○北原 慎治
四方源太郎	○秋田 公司	近藤永太郎	○小巻 實司
田島 祥充	片山 誠治	菅谷 寛志	前波 健史
	能勢 昌博	園崎 弘道	石田 宗久

新型コロナ感染症緊急予算を可決!



令和2年度 5月 準正予算
総額 48億3,400万円

1、医療・検査体制の更なる強化

◆PCR検査体制の更なる拡充	7,900万円
◆妊婦に対するPCR検査の助成	8,100万円
◆安心して出産できる環境の整備	2億7,100万円
◆医療資材コントロールセンターの機能強化	9,500万円
◆地域医療機関の経営支援	8,000万円

2、WITHコロナ社会への対応

◆中小企業等事業再出発支援補助金 40億円

休業要請の対象にならなかった事業者も活用できる
「再出発支援補助金」を創設!

中小企業、小規模事業者等…10／10(上限10万)

「新しい生活様式」に対応した事業を行うため必要となる経費が対象

- 例)客席の間仕切りやカウンター席の設置
店舗入口に設置する検温機器
マスク・消毒スプレー等衛生用品の購入

◆中小企業の資金繰り支援	1,072億円
◆伝統工芸品の需要開拓支援	1億円
ホテルや料理店等が「京都らしいおもてなし」を行うための 伝統工芸品の買い上げを支援	
◆京都の技術を活かした緊急生産支援	2億円
◆府内産農林水産物の需要喚起	3億200万円
◆中小企業雇用継続緊急支援センターの設置	2,900万円
◆個人向け緊急小口資金等の特例貸付け	4億円

3、WITHコロナ社会を乗りきる支え合い支援

◆子ども食堂等の再開に向けての支援	1,600万円
◆就労支援事業に対する支援	5,700万円
◆京都府新型コロナウイルス感染症対策応援基金	基金を創設

皆様の「声」を府政に反映させるための取組

政務調査会の活動

府民の皆様から寄せられている声

- 収益が激減し、家賃が払えない。家賃負担の軽減策を考えてほしい。
- 休業要請に協力した事業者への支援給付金は、府と市町村が連携して申請窓口を1本化し、スムーズな申請となるようにしてほしい。
- 休業要請対象施設ではないが、客が減り休業せざるを得ない。何らかの支援策を!
- 障害者の通所施設でもイベントの自粛や中止に伴って大幅な減収で、利用者の工賃確保が困難。支援制度をつくるべし。
- 給付金や補助金の申請方法はオンライン申請のみとせず、郵送による申請も加えてほしい。ITが使えない私たちにも配慮を!
- 持続化給付金の対応窓口や申請サポート会場をもっと増やしてほしい。
- 飲食店の休業で京野菜や活魚が売れない。代替販路の開拓や消費喚起の取組を応援してほしい。
- 収入が減少しているわれわれ農林水産業者が、共同で利用する市場や漁港などの使用料負担を軽減してほしい。
- 今後自然災害の発生を考えられるので、避難所でのコロナ感染症対策を進めてほしい。



政務調査会幹部会における議論の様子

府民の皆様からの切実な声を政務調査会で取りまとめ、議員団から西脇知事に要望しています。

自民党議員団は、「コロナ後」の社会を見据え、引き続き医療体制の確保と感染予防、経済対策に取り組みます。皆様の「声」をお寄せください。

緊急要望活動

本年1月以降、感染拡大の防止や中小企業等への迅速かつ的確な支援を求めて西脇知事や国会議員に要望活動を重ねています。



事業者の皆様へ

お困りの点は、最適な支援策の紹介や手続きを案内する下記までご相談ください。
中小企業診断士と(公財)京都産業21の職員が常駐し対応にあたっています。

中小企業緊急経営支援センター
TEL:0120-555-182(土日祝含む9時から17時)

次の症状のある方は、医療機関を直接受診せず、事前に下記までご相談ください。

- 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある。
- 基礎疾患がある方や高齢者など重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある。
- 上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続いている。

京都府新型コロナウイルス感染症専用相談窓口
TEL/FAX:075-414-4726(土日祝含む24時間対応)

新型コロナ感染症に関するお困り事・ご要望は地元の議員にご相談ください。



自民党京都府議会議員団 TEL.075-414-5555

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入ル薪ノ内町 京都府議会棟内 FAX 075-414-5563
<http://www.jimin-kyotofukai.com> Eメール office@jimin-kyotofukai.com